



みずうみ みず 湖の水はどこからくるの

みずうみ かざん かつどう
湖は火山の活動によってできるものが多い

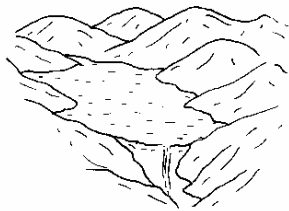
まわりよりもくぼんだ土地に水がたまったり、川がせきとめられたり、海の一部がとじこめられてできたものを湖といいます。「ぬま」も湖とでき方は同じですが、ふつう、底の浅いものを、「ぬま」といっています。

湖のでき方には、いろいろあります。火山の爆発のときにできた溶岩や火山灰で、川がせきとめられて湖になったものをせきとめ湖、カルデラ（火山の中心部にある、円形の大きなくぼち）の一部に水がたまってできたものをカルデラ湖といいます。また、火山の噴火がやんだあと、火口に水がたまってできたものを火口湖といいます。

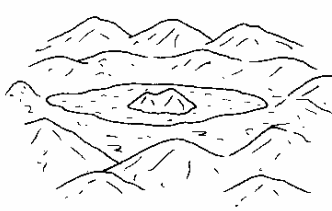
そのほか、川の曲がった部分がとり残されてできた三日月湖、くぼんだ土地に水がたまってできた湖など、火山のはたらきと関係なくできた湖があります。

あめ ゆき かわ みず ち かすい なが
雨や雪、川の水や地下水が流れこむ

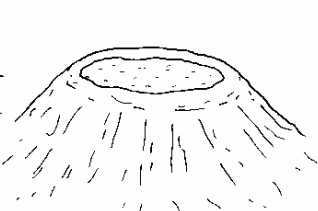
湖のでき方はいろいろですが、湖ができるときには、雨や雪による水、せきとめられた川の水、流れこんできた川の水や地下水などがたまって、湖の水になりました。今でも、湖の水は雨や雪、川の水や地下水が流れこむなど、いろいろなところからきています。（監修・国司 真）



せきとめ湖



カルデラ湖



火口湖



三日月湖

